

サービス インターバル ディスプレイ: リセット

ダイアグノシス テスター を使用したサービス インターバル ディスプレイ リセット → [参照箇所](#)

ダイアグノシス テスター を使用しないサービス インターバル ディスプレイ リセット → [参照箇所](#)

サービス インターバル ディスプレイに関するインフォメーション
→ [参照箇所](#)

サービス インターバル ディスプレイのリセットは、以下の場合に実施する。

- ㊦ デリバリー インспекション時
- ㊦ オイル交換およびインターバル サービス時
- ㊦ 各オイル交換(ロングライフ/固定)および各インспекション時

リセット(アダプテーション)

従来、サービス インターバル ディスプレイでは、エンジン オイル交換に関連するサービス項目しか表示できなかった。他のすべてのサービス項目には、サービス ステッカーが使用された。

モデル イヤー	オイル交換サービス/インターバル サービスのサービス インターバル ディスプレイ(チャンネル1)	インспекション サービスのサービス インターバル ディスプレイ(チャンネル2)
2013年モデル以前	○	×

2014年モデル以降、オイル交換に関連していなくても、両方のサービス項目を一覧表示できるように、2番目のサービス チャンネルが組込まれている。

モデル イヤー	オイル交換サービス(ロングライフ/固定)のサービス インターバル ディスプレイ(チャンネル1)	インспекション サービスのサービス インターバル ディスプレイ(チャンネル2)
2014年モデル以降	○	○



注:

サービス インターバル ディスプレイ(SID)は、手動でリセットすることもできるが、その場合は、SIDが固定サービスにコーディングされるため、ロングライフ サービスにコーディングされている車両は注意すること。また、オイル品質のアダプテーション チャンネルも変更される。

ダイアグノシス テスター を使用したサービス インターバル ディスプレイ リセット

ODIS
– ダイアグノシス テスター 接続 → 参照箇所
– イグニッション スイッチをオンにする。
– 車両識別を実行する。
– "故障診断ガイドで修理する" を選択する。

- | |
|---------------------------------|
| – "ECUリスト" を選択する。 |
| – "ダッシュ パネル インサート" を選択する。 |
| – "ECU識別" を選択する。 |
| – "機能ガイド" を選択する。 |
| – リセットするサービスを選択する。 |
| – "機能ガイド" の指示に従ってアダプテーションを実行する。 |

ダイアグノシス テスター を使用しないサービス インターバル ディスプレイ リセット

2013年モデル以前 → [参照箇所](#)

2014年モデル以降 → [参照箇所](#)

2013年モデル以前

ダッシュ パネル インサートの操作ボタンを使用

- イグニッション スイッチをオフにし、ボタン -3- を押す。
- ボタン -3- を押した状態で、イグニッション スイッチをオンにする。

これにより、サービス インターバル ディスプレイはリセット モードになる。

- ボタン -3- を放し、20秒以内にボタン -1- を短く1回押す。

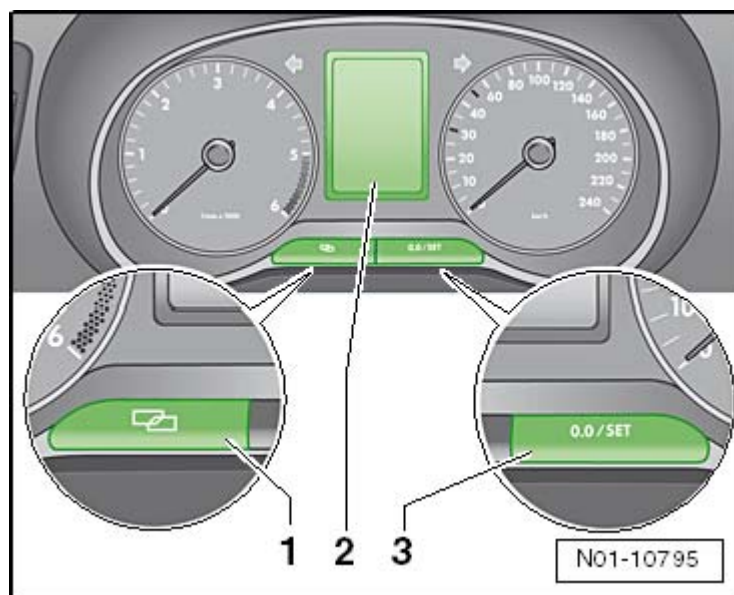
しばらくするとディスプレイは、標準の表示モードに戻る。

2014年モデル以降

オイル交換サービスのリセット

- イグニッション スイッチをオフにし、ボタン -3- を押す。
- ボタン -3- を押した状態で、イグニッション スイッチをオンにする。

これにより、サービス インターバル ディスプレイはリセット モードになる。



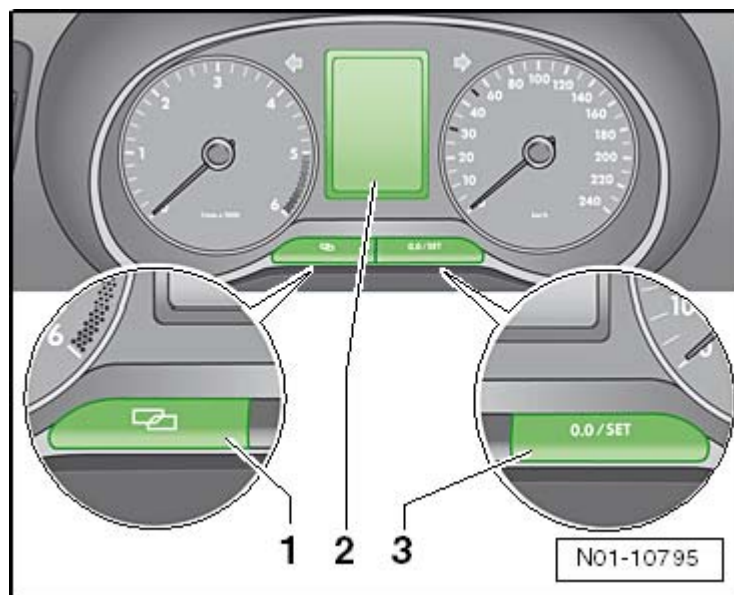
- オイル交換サービスをリセットするには、ボタン -3- から手を離し、20秒以内にボタン -1- を短く1回押す。

しばらくするとディスプレイは、標準の表示モードに戻る。

インスペクションのリセット:

- ハザード ウォーニング ライトをオンにする。
- イグニッション スイッチをオフにし、ボタン -3- を押す。
- ボタン -3- を押した状態で、イグニッション スイッチをオンにする。

これにより、サービス インターバル ディスプレイはリセット モードになる。



- インспекション サービスをリセットするには、ボタン -3- から手を離し、20秒以内にボタン -1- を短く1回押す。

しばらくするとディスプレイは、標準の表示モードに戻る。

